

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成22年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立愛宕山少年自然の家	所管課	福祉保健部児童家庭課
所在地	甲府市愛宕町358-1	設置年月日 (改築年月日等)	昭和48年8月9日
管理方式	指定管理者(公益財団法人山梨県青少年協会、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立少年自然の家設置及び管理条例		
設置目的	①自然の中で、集団生活を通じて自律、協同などを体験的に学習する場を提供すること。 ②各種事業の実施を通じて、豊かな自然の中で情操を養い心身共にたくましい少年を育成する機会を提供すること。 ※山梨県教育委員会からの管理運営事務の委任の年月日と理由 ・昭和48年8月1日 ・山梨県立愛宕山少年自然の家は、児童厚生施設である山梨県立愛宕山こどもの国内に設置されており、利用対象者は低学年児童であることから、二つの施設を同一の機関において管理運営を行うことにより、両施設の相互連携が容易にでき、利用者の計画的利用の便宜が図られ、より一層の効果が期待されるため		
主な施設内容 (定員等)	① 1階 大ホール(144㎡) ② 2階 工作室(78㎡)第一研修室(74㎡)第二研修室(67㎡)展示ロビー(73㎡) ③ 3階 食堂(156㎡) 利用者入口 男女浴槽 ④ 4階 宿泊室 15部屋(定員10名)、1部屋(定員5名) 事務室(96㎡) 相談室		
主な業務内容	○利用の承認に関する業務 ○施設及び設備器具の維持保全に関する業務 ○集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務 ○野外観察、自然探求その他の自然に親しませる学習活動に関する業務 ○体育、レクリエーション及び野外活動に関する業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・利用状況等	(1) 山梨県立八ヶ岳少年自然の家:定員210人:H22利用人数37,253人 (2) 山梨県立なかとみ青少年自然の里:定員108人:H22利用人数8,744人 (3) 山梨県立ゆずりはら青少年自然の里:定員100人:H22利用人数9,908人
---------------	--

3. 利用状況

単位:人、%

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度 (計画値)
利用者数	施設利用者数	23,759	19,988	16,671	
	事業参加者数	317	374	314	
	利用者数合計	24,076	20,362	16,985	
	目標値	20,269	21,407	21,621	21,837
	目標値設定の考え方	平成19年度目標値の3%増を目標値と設定している。	平成19年度実績値の1%増を目標値と設定している。	平成21年度目標値の1%増を目標値と設定している。	平成22年度目標値の1%増を目標値と設定している。
	対20年度比	100.0%	84.6%	70.5%	90.7%
	宿泊室稼働率	46.6%	37.9%	33.4%	
定員稼働率	54.3%	46.8%	37.2%		

4. 収支状況

単位:円、%

		平成21年度	平成22年度 (計画値)	平成22年度 (実績値)	平成23年度 (計画値)
収入	施設利用料	2,225,000	2,817,000	2,075,000	2,845,000
	指定管理者委託料	56,904,000	57,087,000	57,087,000	57,413,000
	その他	890,000	1,318,000	944,000	2,485,000
	収入合計(A)	60,019,000	61,222,000	60,106,000	62,743,000
支出	人件費	32,793,000	32,927,000	30,441,000	33,306,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	26,633,000	28,295,000	29,392,000	29,437,000
	(うち外部委託費)(B)	8,020,000	6,714,000	7,171,000	6,798,000
	支出合計(C)	59,426,000	61,222,000	59,833,000	62,743,000
収支差額(A-C)		593,000	0	273,000	0
外部委託比率(B÷C)		13.5%	11.0%	12.0%	10.8%
利用者一人当りの経費		2,795	2,640	3,361	2,629

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成22年4月~23年3月、実施方法:施設利用者団体の代表者へのアンケート、回答数:69人
-------	--

単位:%

調査項目		満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
宿泊施設	①施設・設備管理	81.0%	17.0%	2.0%	0.0%
	②受付・接客対応	88.0%	12.0%	0.0%	0.0%
	③運営事業	62.0%	38.0%	0.0%	0.0%
	④利用者サービス	82.0%	18.0%	0.0%	0.0%
	⑤自主事業	82.0%	18.0%	0.0%	0.0%
給食施設	⑥施設・設備管理	81.0%	17.0%	2.0%	0.0%
	⑦利用手続・時間	77.0%	19.0%	4.0%	0.0%
	⑧接客対応	86.0%	14.0%	0.0%	0.0%
	⑨利用者サービス	76.0%	19.0%	5.0%	0.0%
各項目の平均		79.4%	19.1%	1.5%	0.0%

※調査項目は、施設ごとに適宜変更する。

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ○夜の到着に懐中電灯を持って迎えに来てくれた。 ○急な予定変更にも対応してくれた。 ○体育館がない。 ○お風呂の蛇口が少ない。 ○ナイトハイクが大好評だった。 ○焼き杉工作は子ども達が喜んでいた。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○職員の対応は親切で迅速と評判が良い。今後も利用者の要望に応えられるよう臨機応変に対応していく。 ○体育館やお風呂の蛇口に関しては、周辺施設の紹介や利用人数などの調整をし、理解いただく。 ○活動プログラムについては、リピーターの団体に関してはマンネリ化している部分もあるため、ニーズに合う工作等を研究し、幅広い団体に活動してもらえるよう図る。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	○毎日巡視を行うことにより、施設内の安全及び適正管理に努めている。 ○警備・防犯対策に注意を払い、利用者の安全確保に努めた。	○適正に管理されている。
主催事業	○すべての職員が、条例、規則及び業務仕様書に基づき適切に業務が遂行できた。 ○主催事業については、全体的に定員どおりの参加人数があった。	○適正に管理されている。 ○運営事業については、ほぼ募集定員が満たされているが、引き続き募集定員が満たされるよう、事業内容や募集方法などに工夫が必要である。
自主事業	○野外活動を5回開催したことにより、愛宕山の豊かな自然に親しむ機会を提供できたと同時に多くの方に自然に対する興味・関心を持ってもらうことができた。	○「サイエンスキャンプ」については、参加率が低いため、平成23年度において廃止し、新たな事業を企画している。 ○その他の事業については、引き続き募集定員が満たされるよう、募集内容や募集方法などに工夫が必要である。
利用状況	○延べ利用者数については、小中学校への訪問による施設やイベントのPRを行ったものの、利用が集中する春休み期間直前に発生した震災の影響が大きく、キャンセルなどにより、利用者減となった。その他、研修室のアスベスト除去工事など、利用者減のほとんどが不測の事態によるものである。	○震災などの影響により、利用実績や施設稼働率は、昨年度より減少となった。今後とも、利用者ニーズに合った事業の展開を図ることや新規利用者の確保のためのPRを行うなど、利用者呼び込み取り組みが必要である。
収支状況	○人件費は微減となったが、施設・設備の老朽化から修繕費や設備管理費が増加していることが目立つ。	○人件費の削減に努めるとともに、施設修繕を行い、施設環境改善に努めており、支出全体の削減(対計画98%)など、効率的な運営をしていた。 経費削減の努力は評価できるものの、利用者が減少したため、原因分析に基づき、施設の利用促進を図ること。
利用者満足度	○夜の到着に懐中電灯を持って迎えに来てくれた、急な予定変更にも対応してくれたなど、アンケートの結果から職員の対応は親切で迅速と評判が良い。	○適正に管理されており、満足度は、ほぼ前年度どおりであるが、利用者満足度向上を常に念頭に置いた取り組みを全職員に徹底させるとともに、ニーズに合った事業の展開を図るなど、適正な施設運営に努める必要がある。
運営目標の達成状況	○学校訪問による直接PRなど利用促進を図ったものの、昨年度より延べ利用者数は減少した。原因としては、利用が集中する春休み期間直前に発生した震災の影響が大きく、キャンセルなどにより、利用者減となった。その他、研修室のアスベスト除去工事によるものなど、利用者減のほとんどが不測の事態によるものである。 ○主催事業や自主事業によっては、募集定員を上回る参加人員となっている事業もあり、概ね利用者ニーズに合った取り組みを行っているといえる。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	○施設管理・主催事業・自主事業等について、条例、協定及び業務計画書等に基づき概ね適正に履行した。 ○経費削減に努めるとともに、必要な施設環境改善を行った。 ○県民ニーズの把握に努め、利用者サービスの向上と利用者数の増加に向け努力した。 ○利用者数の減少の原因分析に基づき、施設の利用促進を図ること。 ○主催事業で参加率の低い事業については、平成23年度に新たな事業を企画している。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	○平成21年度、22年度ともに参加率の低かった事業を廃止し、平成23年度に新たな事業を計画していることを確認した。	

7. 管理体制(組織図)

